

2021年9月2日 男子ロードレース

その日、川本翔大選手は



男子Cクラスのロードレースが開催された9月2日、夏にもかかわらず気温が低く大雨、さらには一面霧で前方がほとんど見えない程だった。雨で滑りやすくなった路面で転倒する選手も出るなど厳しいレースコンディションだった。川本選手自身も「走っている本人も、様子がわからなかった。最初は雨がひどくて、怖かった。」と語った程だ。

川本選手も悪天候の中集団で走り続けていたが、集団から離されてしまいそうになったのが棚頭付近。今回当時を思い出しながら走ってもらおうと、「ここ（棚頭）で集団からちぎれかかったんです。でも、ここに万葉がいたので、棚頭交差点の先で追いついたんですよ」と語った。厳しいレースとなったが完走、28位で大会を終えた。

あれから約500日。川本選手は2022年トラックの世界選手権で銀メダルを3つ獲得する等、世界の頂点を目指す戦いを続けている。



大会時の様子
©フォート・キシモト

2021年9月3日 女子ロードレース

その日、藤井美穂選手は

女子Cクラスのロードレースが開催された9月3日、前日の大雨はやんだものの曇り空で時折雨が降る肌寒いコンディションだった。女子のレースは3周。藤井選手は1周目こそ集団に食らいつくものの、2周目以降離され単独で走り続けた。棚頭では「このカーブのところで、他国の選手が膨らんできて、フェンス側に追いやられ、集団から離れてしまいました。ここは悲しい思い出の場所です」と当時を懐かしみながら語った。

あれから約500日。藤井選手もパラサイクリングの選手として様々な大会に出場。新しくパラサイクリングを挑戦する選手と一緒にトレーニングをするなど、静岡県東部を中心に練習を続けている。さらにパラサイクリングを紹介する取組など、様々な活動も行っている。



2021年9月2日、3日 男子、女子ロードレース

その日、福井万葉選手は



東京2020パラリンピックの代表には選出されず、関係者と共にレースを見守った福井選手。川本選手の走りに影響を与え、藤井選手の頑張りを見てきた。

福井選手の乗る三輪自転車（トライシクル）は、ロードレースのみ。筋力アップにつとめ、関係者も体が大きくなってきたと口々に語る。

あれから約500日。福井選手もパラサイクリングの日本代表として2022年世界選手権に出場しロードレースでは9位、ワールドカップ（ドイツ）ではタイムトライアルで4位となった。各国の強豪選手と戦いを続け2024年のパリパラリンピック出場を目指している。静岡県内では、ロード練習を積む福井選手の姿を見かけることもしばしばだ。



静岡県東部地域局

〒410-0055 沼津市高島本町1-3

TEL 055-920-2139

MAIL toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/chiikikyoku/tobuchiiki/index.html>

Toubu Shizuoka shizuoka.pref_toubu



当日の様子は、
富士山・伊豆サイクリングチャンネルで
(YouTube)